

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	安福 京花	学校名	神戸市立明親小学校
実施学年	5 年	教 科	国語
単元名	みんなが使いやすいデザイン		

《学びを深めたいポイント》

導入で友達の文章を見るポイントを提示し、アドバイスを送り合うことができるようにしたい。いきなり交流にするのではなく、教師の文章を読んで練習をすることで、抵抗なく友達の文章を読み、アドバイスできるようにしたい。

グループ交流では、SKYMENU のグループワークを用いる。友達からアドバイスをもらい、どのようにしたらよりよい報告文になるのかを考えさせたい。

《SKYMENU 活用のポイント》

第3・4時では、SKYMENU 発表ノートで情報カードを作成させる。

【どんな人も】

「体に負担がかからないので、力の弱い人や、手にけがをしている人もつかうことができる。」

〈参考〉

大山ほか「身近なユニバーサルデザイン」
ひかり図書、2024年、39ページ

【幅】

「2006(平成18)年に定められた「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」(バリアフリー新法)により、公共交通機関では、バリアフリー化が進められており、90cm～95cmのものが設けられるようになってきています。」

〈参考〉

横浜バリアフリー研究所、「ひとつだけ「幅の広い自動改札」がある理由とは?」、2024年6月9日

【名古屋地下鉄】

「全87駅に設置しています。」

〈参考〉

名古屋市交通局、地下鉄事業の取り組み
、2024年6月9日

【阪急電鉄】

「1998年 幅広型自動改札機導入」

〈参考〉

阪急電鉄、「阪急バリアフリープロジェクトvol.2」
、2024年6月9日

【誰もが】

「幅の広い改札口はだれもが余裕をもって、通行できます。」

〈参考〉

「知ってほしいあだちのユニバーサルデザイン」
足立区都市建設部都市建設課ユニバーサルデザイン担当課
2024年6月9日

【誰もが】

改札が広ければ、車椅子、松葉づえ、ベビーカーを利用している人や、大きな荷物を運んでいる旅行者まで、誰もが余裕をもって通過することができます。

〈参考〉

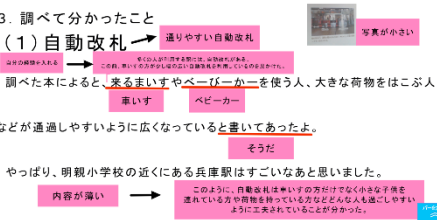
ツイスト
「ユニバーサルデザイン」
2024年6月9日

第5・6・7時では、報告文を SKYMENU 発表ノートで完成させていく。

その中で本時は、SKYMENU のグループワークを活用して、友達と報告文を読み合う。アドバイスを送る対話的な学びを行い、そこで学び得たことを自分の報告文にいかしていく。

第9時では、完成した報告文を読み合う。最後には、SKYMENU で完成した報告文を提出する。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	1. 教師の文章を使って、アドバイスの練習をする。 【レベル1】 ・字の間違い ・文章にあった図表やグラフ、写真が使われているか。 【レベル2】 ・引用したところに、「」を使っているか。 ・テーマと自分の見つけた工夫が対応しているか。 【レベル3】 ・小見出しは分かりやすいものか ・段落を使って分けられているか ・内容の区分け ・調査結果と感想の区分け	・SKY MENU の発表ノートを見て、間違いに線を引く。(個人)(もと) 3. 調べて分かったこと (1) 自動改札  幅の広い改札は、来るまいすの人でもスムーズに通ることができる。調べた本によると、車いすやベビーカーを使う人、大きな荷物をほこぶ人などが通過しやすいように広がっていると書いてあったよ。やっぱり、明観小学校の近くにある兵庫駅はすごいなあと思った。 (訂正例) 3. 調べて分かったこと (1) 自動改札 → 通りやすい自動改札  この改札、車いすの方や大きな荷物を抱えている人でもスムーズに通ることができる。調べた本によると、車いすやベビーカーを使う人、大きな荷物をほこぶ人などが通過しやすいように広がっていると書いてあったよ。やっぱり、明観小学校の近くにある兵庫駅はすごいなあと思いました。 内容が濃い → このように、自動改札は車いすの方だけでなく小さな子供も通れている方が持っている方法などがある人も通しやすいように工夫されていることが分かった。	・ 個人タイムに入る前に、アドバイスポイントをレベルごとに提示。見るポイントを絞る。 ・ 発表ノートを配布。
展開	2. 本時のめあてを確認する。 見るポイントを基に読み合い、アドバイスをしよう。 3. ペアの文章を読んでアドバイスをしあう。 ・ 漢字が間違えているよ。 ・ 引用のところに「」がないよ。 ・ 文章と一緒に実物の写真があると分かりやすいと思うよ。 ・ これは、次の段落に書いたほうが読みやすいと思うよ。	・ グループワークでアドバイスをしあう。(ペア計3回)	・ グループワーク機能を活用し、グループ内でアドバイスを送り合う。
まとめ	4. アドバイスを基に文章を書きなおす。	(完成例) 3. 調べて分かったこと (2) ユニバーサルデザイン 兵庫駅を利用していて気づいたことがもう一つある。それは、自動券売機にも工夫があるということだ。それは、1台だけ低い位置に券売機が設置されているということだ。「みんなが過ごしやすい町へ ユニバーサルデザインとバリアフリー」によると、「車いすに乗ったままできっぷを購入できます。また、硬貨の投入口は大きく、手や指の不自由な人もいれやすくなっています」そう。 以前違う駅だが、小さな子供がきっぷを買う練習をしているときに低めに設置された券売機を利用しているのを見たことがあります。抱っこをしてあげなくても、子供にきっぷを買う体験をさせられるのはお家の人にとっても過ごしやすい工夫だと思う。 	・ アドバイスをもらったノートともとのノートを持ち帰ることで、見比べながら文章を修正できるようにする。

《実践を振り返って》

字を書くことが苦手な子も文字を入力することへの抵抗は少なく、修正も簡単で「今日はパソコンを使って報告文をつくっていくよ。」と声をかければ「やったー!」という声があがるほど学習に前向きに取り組むことができていた。今の子どもたちにとって、文房具と同じくらい馴染みあるものにしていくべきだと感じた。

導入でアドバイスを送るポイントとしてレベル1~3まで提示したことで、意欲的に友達の報告文を読み、アドバイスを送ることができていたように思う。また、SKYMENU のグループワーク機能を活用することで、書き込みや修正がしやすかった。ノートやプリントであれば、友達のものに直接書き込むことは抵抗があるだろうが、発表ノートでの書き込みは原本を残すことができるので、安心してアドバイスを書き込む姿が見られた。アドバイスタイム終了後には、「早く文章を直したい!」という前向きな声もあがった。

今回は、友達の報告文を読み合いアドバイスを送るという流れだったが、自分である程度修正してからアドバイスタイムを設けてもよかったと思う。

GIGA 端末を活用することで、文章を書くことに抵抗があることも前向きに学習に取り組むことができていた。今後、国語以外の教科でも活用していきたい。